

醸すべきは豫測するに難からず。果して然らば露國が今に於て、其の勢力を此の地方に扶植し、牢として抜くべからざる根柢を培養し、天然的國境を清國領土中の荒漠たる地方に求むるは、獨り露國の爲めに最大の利益たるのみならず、此の如き境界にして確定せらるゝに至らば、境界の警備は、將來何等の費用と勞力とを要せざるを得べし。蓋し我邊境の事、其の基礎既に確立せば、境界線を戈壁地方に推進すること、容易なるべく、此の如くして始めて枕を高うして安眠するを得べければなり云々。

是れ明かに露國の野心を暴露して、遺憾なきものに非らずや。若し夫れタシケンド、トムスク鐵道にして、完成せらるゝの曉に至らば、是れ即ち伊犁の側面を近く脅威せられたるに等しく、伊犁は漸次に露國の侵蝕を蒙るべきは、殆んど疑を容れず。況んや伊犁地方は、露領セミレチエンスカヤ州と、伊犁河の河孟に由りて連接し、露國よりの侵入容易なること、尙ほ黑龍江河孟に沿へる滿洲に異ならざるに於てをや。伊犁の運命豈に獨り第二の滿洲たらざるを得んや。更に翻つて兵略上より觀察せんに、露國若し其首力を伊犁に進めて新疆を中斷し、一支隊を塔爾巴哈